

『教職のプラットフォーム 大学改革シンポジウム！』

国立大学協会と愛知教育大学主催の『大学改革シンポ 地域と創り上げる防災学習』のシンポジウムに、蛭間小学校・蛭間小学校学校運営協議会（地域防災・消防団）・西尾張CATVのメンバーと共に登壇しました。津島市からは15名の皆さんが、わざわざ刈谷市にある愛知教育大学まで来てくださいました。当日は常滑市・刈谷市と共に発表しましたので、80名を超える皆さん（大学生も含む）が出席してくださいました。12月21日の土曜日の午後に開催しました。

「地域と創り上げる防災学習」では、小学校では避難所体験や避難訓練などの体験学習を重視した取組を、中学校では話し合いながら防災・減災のあり方を考えるワークショップの取組を重要視しています。そのためには何よりも地域の人たちの顔を知るため、祭りや地域コミュニティの活動に出席することの大切さを教えられました。「つながり」や「かかわり」がそのような活動の中から生まれてくることも確認しました。

防災学習の内容としては、様々な状況を想定した避難訓練のあり方、避難訓練時の役割分担、避難する場合の持ち物、防災倉庫の見学、防災ボランティアとしてどのような役割を果たすか、外国人の方・障がいのある方・高齢者の方・幼い子どもたちへの避難の誘導やお手伝いについて話し合いました。4時間を超えるシンポジウムでしたが、あっという間に終わってしまいました。蛭間小・蛭間小学校地域防災（消防団）の皆さんには大変お世話になりました。

令和6年度も名古屋にある領事館との国際交流活動が順調に進んでいます。ペルー（神島田小）、フィリピン（西小）、カナダ（北小）、韓国（南小）との交流が終わりました。領事館の皆さんの熱い話をうかがい、その国の文化・歴史・言葉・観光・食について知ることができました。特に韓国領事館との交流では、例年のように韓国学校の先生からハングルを学び、サポーターチームのデラさんからK-POPのダンス講習を教えてくださいました。まさに韓国は近くて近い国であることを学習の中から知ることができました。私も総領事の金様から、韓国の学校やスポーツ（サッカー）事情を詳しく聞き、大変充実した時間を過ごすことが出来ました。今後は1月・2月に、トルコ・中国・アメリカ・ブラジルの領事館と国際交流活動を楽しむ予定です。一度子どもたちに交流した感想をお聞きいただけると幸いです。

夕風や山車の灯りに飛ぶバッタ

令和7年1月6日

津島市教育委員会
教育長 浅井厚視